

アルフレッド・ダグラス著、梅 正行訳

『タロット』（新装版）、河出書房新社、2005年2月28日刊。  
243頁。本体価格2,900円。

トランプの先祖にして、トランプとは別の数奇な運命をたどった  
タロットカードの全体像を平易に解説。タロットは遊戯や占いの道  
具として流布したばかりでなく、画家や作家を刺激し、その創作活  
動を助けてきたイタロ・カルヴィーノの『宿命の交わる城』はその  
好例。本書日本語版は10年前の出版。本格的解説書として広く受  
け入れられ、この度の新装版発行となる。

伊藤進、郡伸哉、梅 正行著

『空間・人・移動：文学からの視線』、2006年2月15日、勁草  
書房刊、本体価格3465円。

ルネサンス期ヨーロッパから、十九世紀ロシア、イギリス、そし  
て二十世紀インドにいたるまでの時空のなか、探検家、作家、作中  
人物がいかに関わり、何を語り記したかを問う文学論。「いま、こ  
こ」にあるものへの語りを補い、「いま、ここ」にあらざるものの  
構築を目指す複合的越境の試み。